

タイキンエアコン

臤 扱 説 明



機種名(総称名)

S22KTSXS-W(C)

S25KTSXS-W(C) S40KTSXP-W(C) S40KTSXV-W(C) S28KTSXS-W(C) S50KTSXV-W (C) S50KTSXP-W(C) S36KTSXS-W(C) S63KTSXP-W(C) S63KTSXV-W(C) S71KTSXP-W(C) S71KTSXV-W(C)

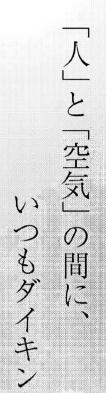


上手に使って上手に節電

- ●このたびはダイキンルームエアコンをお買い上げいただき。まことにありがとうございます。
- ●この取扱説明書には、使用上の注意事項を記載しております。**正しくお使いいただくために、** ご使用前に必ずお読みください。
- お読みになった後はいつでもご覧になれるよう、お手元に保管してください。
- ●保証書は必ずお買い上げ日、販売店名などの記入を確かめてからお受取りのうえ、大切に保管してください。

類用語の ノー・こもの ありく もの

https://www.cs.daikinaircon.com/





1台のエアコンで 『健康空気の4要素』をコントロール!

室内温度をコントロールし、さわやかな暮らしをサポートします。

しつど

夏はさらさら快適にしつどコントロール。

华気膏等

カビやウイルスなども強力除去。お部屋の空気を清潔に保ちます。

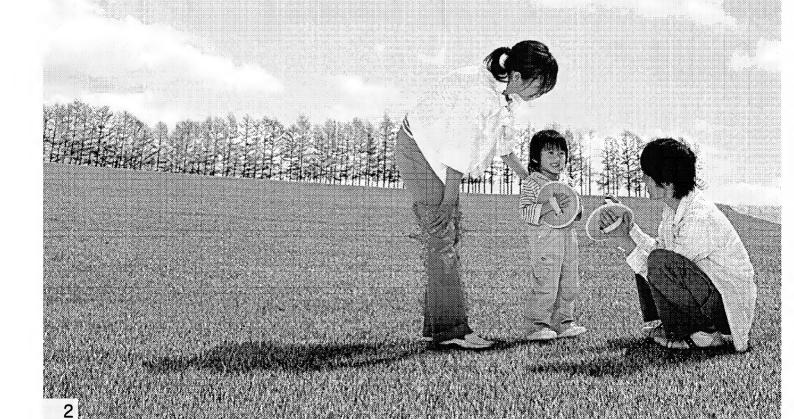
f M

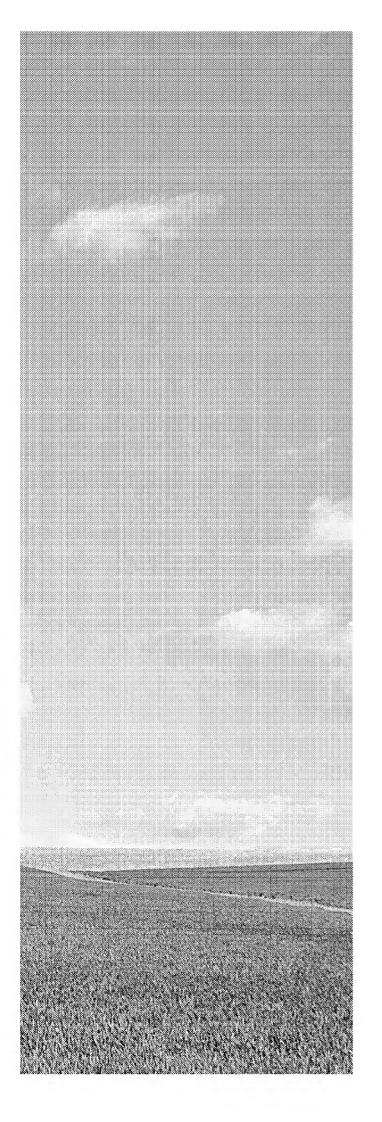
風の流れをコントロールし、 風が直接体にあたりにくくします。



清潔

- ●フィルター自動おそうじ機能
- ●セルフウォッシュ・除菌・防カビ熱交換器
- ●除菌・防カビファン
- ●内部クリーン機能





ご使用になる前に

■各部のなまえと働き・・・・・・・・・ 6 ■運転前の準備・・・・・・ 10 使ってみよう
■冷房・除湿冷房運転・・・・・13■除湿運転・・・・・・14■護房運転・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
■パワフル運転・・・・・・・・・・・30 ■設定切換・・・・・・・・・・・30 ■フィルター掃除・・・・・・・・31 快適に使い続けるために
■お手入れのしかた ●お手入れ早見表・・・・・32 ●おそうじサインリセット・・・・33 ●ダストボックス/ダストブラシ・・・34 ●前面パネル・・・・・38 ●フィルター部・・・・40 ■交換のしかた・・・・・42 ■安全にお使いいただくために・・・・43 こんなときは



安全上のご注意

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくために、いろいろな表示をしています。 内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■「表示」を無視して、誤った取扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。

「死亡や重傷を負うおそれがある 内容 | を示しています。

注意

「けがや財産に損害を受けるおそれ がある内容 | を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、「図記号」で区分して説明しています。



「してはいけないこと」を表しています。



「しなければならないこと」を表しています。



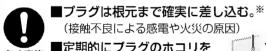
火火や慰蕾 大けかを防くために 多量りください。

※電源プラグの有る機種の場合

電源プラグやコードは



- ■運転中にプラグを抜かない。※ (感電や放電による火災の原因)
- ■電源コードを持って抜かない。※ (断線による、発熱や発火の原因)
- ■ぬれた手でプラグの抜き差しや操作はしない。※ (感電の原因)
- ■途中で接続したり、延長コードの 使用、タコ足配線をしない。 (感電や発熱、火災の原因)
- ■破損させたり、加工したり、傷んだまま、 束ねたままでの使用はしない。 (感電や火災の原因)



(接触不良による感電や火災の原因) ■定期的にプラグのホコリを

乾いた布でふき取る。※ (湿気などで絶縁不良となり、 発熱や発火、火災の原因)



異常・故障時には直ちに使用を中止する



異常·故障例

- ●電源コード、プラグが異常に熱い。
- ●電源プラグが変色している。
- ●こげ臭い二オイがする。
- ●ブレーカーがひんぱんに落ちる。
- ●室内ユニットから水がもれる。

(異常のまま運転を続けると故障や感電、 発煙、火災などの原因)

すぐに運転を停止し、電源プラグを抜くか、ブレー カーを切ってお買い上げの販売店またはダイキン お客様ご相談窓口にご相談ください。 ▶53ページ

電源プラグ



室内ユニットは



■動植物に直接風をあてない。 (動植物に悪影響を及ぼす原因)

■精密機器や食品、美術品の保存、 動植物の飼育や 栽培などに使わない。 (品質低下などの原因)



■ユニットの下に、他の電気製品や 家財などを置かない。 (水滴が落ちて、汚損や故障の原因)



■燃焼器具と一緒に 運転するときは、 こまめに換気する。 (酸素不足による頭痛など



■燃焼器具は、風が直接あたらない 場所で使用する。

(不完全燃焼の原因)

■乳幼児の手の届くところにリモコンを置かない。 (誤操作による体調悪化や電池誤飲の原因)